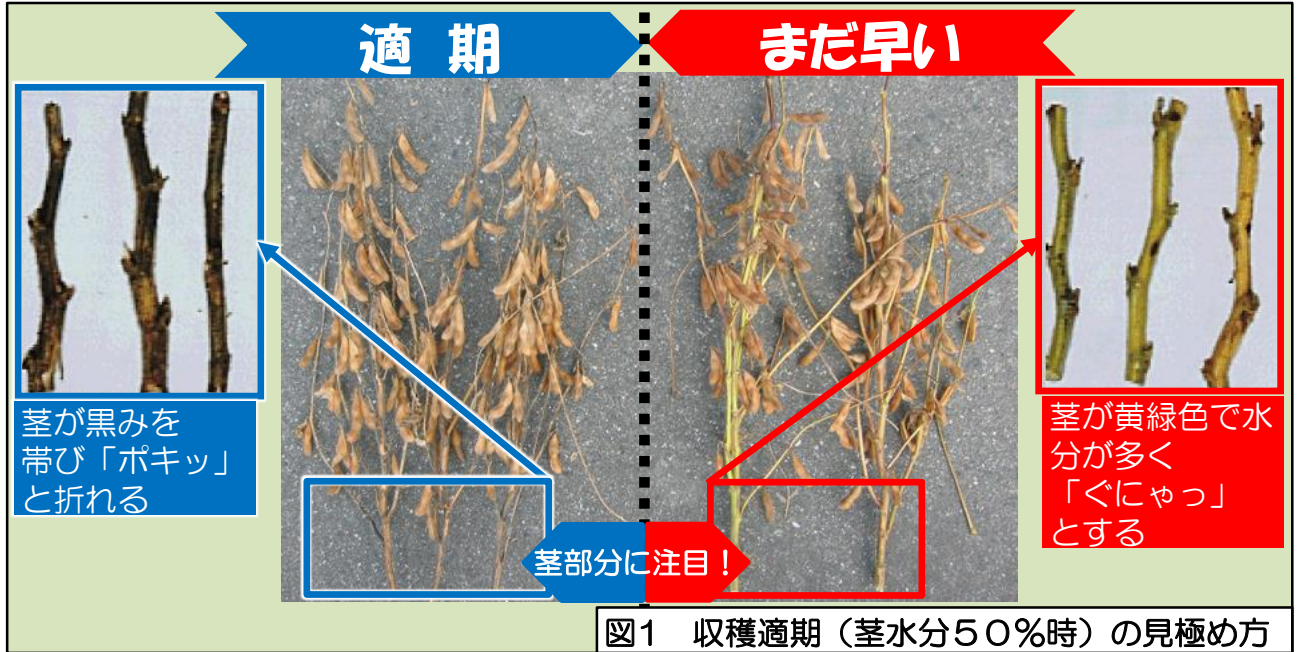


## 6. 収穫及び乾燥

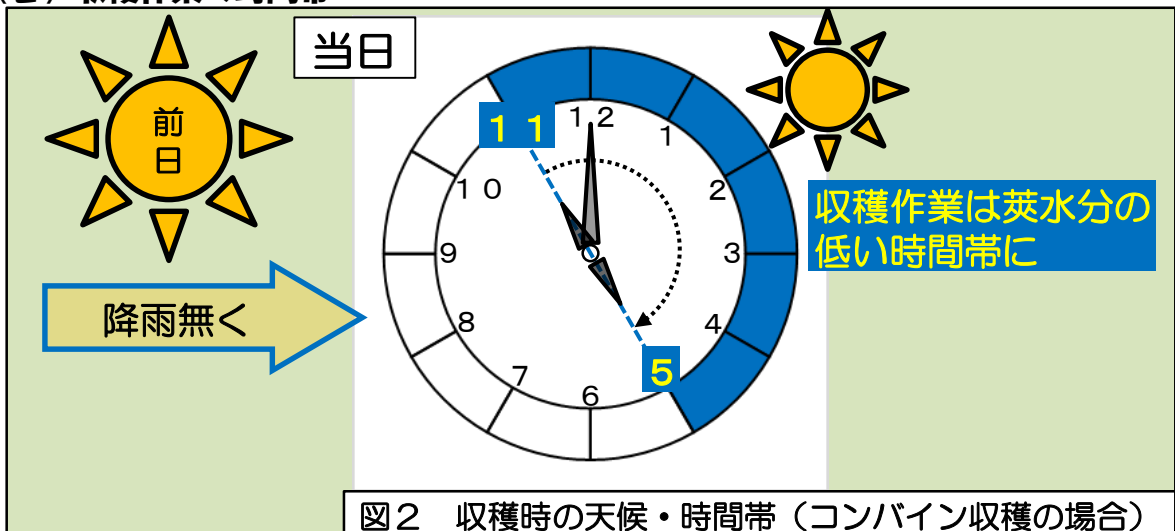
- 令和3年産大豆が収穫期を迎えています。生育については、草丈は低めで分枝も少ない傾向にあります。適期に収穫し、適切に乾燥することにより収量・品質を確保しましょう。

### 1) 適期収穫 ~茎の色・水分・天候及び時間帯に注意!~

#### (1) 収穫適期の判断方法



#### (2) 収穫作業の時間帯



#### ポイント

- 大豆の成熟期は、莢内で子実が離れ、莢を振ると「カラカラ」と乾いた音がる時期です。また周辺部から先に成熟期となるため、収穫前に圃場の中央付近で大豆の状態を確認しましょう。
- 早刈りは汚損や破碎粒等の、遅刈りは莢が割れることによる収穫ロスや降雨等による品質低下の原因となります。収穫期前後の茎の変色及び水分に注意し、適期に収穫するよう心がけましょう。
- 収穫前にコンバインの刈取り高さを調節し、土のかみ込みによる汚損粒の発生を防ぎましょう（作業前の整備については後述）。

## 2) 乾燥 ~品質を保ちつつ、速やかに適正水分に~

(1) 委託する場合 収穫後の水分戻りを防ぐため、速やかに乾燥施設に搬入

### (2) 自家乾燥する場合

①仕上がり水分 14~15%

②乾燥条件 乾燥機を30℃以下かつ外気温より15℃以上高くない温度に設定し、ゆっくりと時間をかけ通風乾燥

▶ポイント 自家乾燥する場合は、急な乾燥による品質低下に注意しましょう。

## 3) 機械の点検・整備を忘れずに！ ~安全・効率的・順調な作業の第一歩~

### (1) 作業前

機械名	点検・整備の留意点
コンバイン	<ul style="list-style-type: none"><li>各Vベルトの張り、亀裂の点検</li><li>刈取高さの調整 ※汚損の原因となる土をかみ込まない様に</li><li>足回りの点検、回転部へのグリスアップ実施</li><li>エンジン周りの点検、ゴミの詰まりやすい部分の掃除</li></ul>
乾燥機	<ul style="list-style-type: none"><li>昇降機の回転方向、ベルトの偏り具合の点検</li><li>各Vベルトの張り、亀裂の点検</li><li>乾燥機内の通風ダクト、排気口の点検 ※詰まると品質が落ちます！</li></ul>

(2) 作業後(共通) ①泥・ゴミ等の除去、動く部分への油差し

②壊れた、外れた箇所は速やかに修理または交換

### ▶ポイント

- 作業中の不具合は効率を落とし、事故の原因にもなります。作業前後の点検、整備により未然に防ぎましょう。
- 収穫期は農機メーカーも繁忙期で、故障等への素早い対応が困難です。作業前の点検で不具合や故障箇所を見つけ、修理を予約しましょう。

## 7. 栽培終了後に行うこと

### 1) 雑草対策 ~大豆がない期間に、地面の下まで確実に防除！~

①非選択性除草剤(ラウンドアップ等)を散布し、根まで枯らす。

②田面をやや深め(20cm前後)に耕起し、雑草の地下茎等を外気にさらす。

### ▶ポイント

- 防除しにくい雑草の多くは、地上部が枯れた後も地面の下で生きています。地面の下まで枯らすことにより、翌年の大発生を防ぎましょう。

### 2) 翌年産資材購入の留意点 ~使い残り確認で重複購入、無駄防止！~

(参考) 翌年産資材を購入する場合の考え方



### ▶ポイント

- 本年産の使い残しを翌年産で確実に使用することで生産費の節約となり、劣化による廃棄も防げます。

注意☞使用期限の切れた農薬、廃プラスチック等は適切に廃棄しましょう。

栽培終了後は本年産の収量・品質を振り返り、改善する好機です。  
適切な対策を講じることにより、来年産の収量・品質向上につなげましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html>